

教育

綱引きの普及を

導入は難しい

問

去る2月19日に第32回綱引き大会が開催され、10分館26チーム(うち小学生の部8チーム)が出場し、熱戦が繰り広げられました。本年は昨年と比べ、2分館6チームが減少しました。

綱引きは、古代オリンピックの種目であり、国民的スポーツとして根付き、須恵町は先行的に綱引きを取り入れ、綱

答 安河内教育長

引きの町として知られるようになりました。さらに町のスポーツとして定着させるためにも、特に小学生からの取り組みが不可欠です。綱引きを通じて協調性が生まれ、連帯感も深まると思います。また、体力づくりの一環としても、小学校で取り組んではどうですか。

現在、県内でスポーツ綱引きを教育活動に位置づけている学校はありません。



世利 孝志 議員

学校教育の動向を見ると、今月末に小中学校の新学習指導要領が告示される予定で、平成30年度から試行、32年度には本

格実施となります。小学校では、新たに外国語科が新設され、3年生から6年生まで、週の学習時間が1時間ずつ増えることになっています。新学習指導要領の実施に伴い、学習時間の増加等が予測されますので、協調性や連帯感の育成、そして体力向上については、現行の教育活動をさらに充実させていきたいと思っています。したがって、スポーツ綱引きを新たに教育活動に導入することは、現時点では難しいと考えています。



親子で力を合わせて(綱引き大会)

町政を問う!

一/般/質/問

安心

緊急救命対策の充実を

コンビニに働きかける

問

地域や団体でAEDの講習が消防署の協力を得て盛んに行われています。

AED機器は町内であまり見かけませんが、公共施設や教育施設に設置されています。ほかにも病院などにはあるものと思いますが、いずれにしても、休日や夜間の対応などに課題があります。救命率の向上のためにも、

24時間の対応が必要です。また、24時間営業のコンビニ等へ、AED設置の協力をいただければ、緊急時の救命率がさらに向上できると思われれます。町長のご見解をお伺いします。

答 中嶋町長

高齢化社会を迎え、コンビニの持つ機能が買物だけでなく生活圏の中でどう利用するかが重要だと思えます。



田ノ上 真 議員

AEDは、現在役場庁舎を始め、町内15カ所の公共施設に設置されています。しかしながら夜間や土日は施設が閉まつており、活用できない状況も出てきます。福岡県では柳川

防災

新技術の活用は

広域での活用を模索

問

新技術である小型無人機「ドローン」の活用についてお尋ねします。

ドローンはすでに普及期に入っており、報道や様々な撮影現場で使用されることも多くなりました。その利点は、運搬はもとより、上空からの近接した撮影、多様な角度からの撮影が可能になることです。

今後、地勢やインフラ等の各種調査・災害などの現場調

がら、今後、町内に10カ所あるコンビニに働きかけをしていきたいと考えています。

査や防災対策に生かせるものと思えます。導入についてのご見解をお伺いします。

答 中嶋町長

活用頻度の問題もあり、糟屋郡中南部6町に1機あればいいと考えています。災害等を考えた場合、粕屋南部消防本部であれば、365日24時間体制で職員が常駐しており、ドローンの操縦技術を習得するなど、活用の頻度が高まるのではないかと思います。